

1人1台端末の活用による、日常生活の質を向上させる実践事例

学校名	岡山県立岡山東支援学校	指導者名	長井 繁郁
実践場面 (教科名)	日常生活の指導 (自立活動)	単元・題材名	「今日のスケジュールを確認しよう」
学習目標・ねらい	・スケジュールを確認し、見通しをもって、落ち着いて生活することができる。		
対象生徒の実態	知的障害部門 高等部 1年		
	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールを教師に確認することが多い。 ・スケジュールが分からないと不安になり、気持ちが落ち着かないことがある。 ・時間の概念はあまりないが、時計の針を見て行動することができる。 		
活用の概要			
<p>タブレット端末を利用し、自分でスケジュールを確認するようにした。</p> <p>1日のスケジュールを担当がパワーポイントで作成し、スライドショーの機能を使い、生徒自身で操作・確認をするようにしている。操作の手順が簡単であり、文字やイラスト等も大きく表示できるため、生徒にとって理解・把握しやすいと思う。</p> <p>登校後や休み時間など、自分でタブレット端末を操作し、スケジュールを確認することで、見通しをもって学校生活を送ることが増えてきた。活動時間なども時計を見ながら、時間いっぱい取り組むことができている。</p>			
			
(写真1) タブレット端末で予定を確認		(写真2) 時間を確認しながら学習に取り組む姿	
成果や活用のポイント ・ 課題、改善点等	<ul style="list-style-type: none"> ・一日のスケジュールを手元で確認することができ、落ち着いて生活することができている。 ・パワーポイントで作成することで、生徒の実態に合ったものを作ることが可能である。 ・1つデータを作成することで、他の生徒も利用することができ、教師のスケジュール作成に伴う業務の軽減ができた。 ・タブレット端末だと一日の途中で変更や修正をすることが難しい。 		